

KSC だより

令和2年9月 北小河内セーフコミュニティ協議会

今年は新型コロナの感染拡大により外出の自粛や活動の制限により、普段と異なる生活が続いていますが、地域で安心して生活できるよう、新しい生活様式に合わせた取組みを徐々に進めていければと思います。今回のKSCだよりは7月に区民の皆様にご協力いただいたアンケートの結果を中心にお知らせします。

○問1 火災報知機の設置について (R1 設置率：62%)

選択肢	回答数	率
1 備えている	175	61.8%
2 備えていない	78	27.6%
3 購入したい	30	10.6%

今年に入って町内で住宅火災により2人の高齢者が亡くなっています。
住宅用火災報知機の設置も義務化されていますので、早めの設置を心がけましょう

○問2 家具・家電製品の転倒防止について (R1 普及率：48%)

選択肢	回答数	率
1 備えている	110	39.0%
2 備えていない	148	52.5%
3 購入したい	24	8.5%

1995年の阪神・淡路大震災では死者の約8割が住宅の倒壊や家具の転倒による圧死でした。
日頃からの備えが自らの命を守りますので、早めの備えを心がけましょう

○問3 命のカプセルの配置について (R1 普及率：56%)

選択肢	回答数	率
1 備えている	154	55.2%
2 備えていない	122	43.7%
3 備えたい	3	1.1%

突然体調の急変が起こることもあります。
緊急連絡先や飲んでいる薬など、緊急時に必要な情報を備えておくことが必要です。必要な方は申し出てください。今年は新規で5件斡旋しました。

○問4 感震ブレーカー (R1 普及率：30%)

選択肢	回答数	率
1 備えている	69	24.8%
2 備えていない	200	71.9%
3 購入したい	9	3.3%

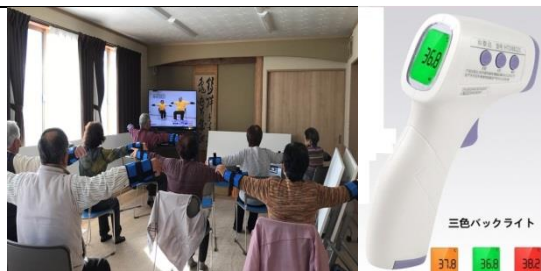
大地震で停電し、復旧後の通電した際に、地震時に断線した電気コード等からの出火が予測されます。感震ブレーカーは地震を感知し電気の遮断をします。今年は新規で9件斡旋しました。

コラム：閉じこもり予防のために

新型コロナの影響により外出する頻度が減った方もいらっしゃるかと思います。

区内で行われている百歳体操やサロンも再開しました。体調管理に気をつけながら地域で行われている活動に参加したり、自宅で身体を動かしたりしながら健康を維持していきましょう。

また、公民館と各集会所に非接触型の体温計を配備しましたのでご活用ください。



○問6・7 日常生活の中で困っていること・支援できること

項目	困っていること	支援できること
雪かき	22	88
ゴミ出し	2	42
買い物	0	30
掃除	0	10
洗濯	0	8
草取り	17	23
木の剪定	27	18

日常生活の中での困りごととして家の外のことが多くあげられています。隣近所で助け合いながら、取組みを進めていければと思います。

困りごとがありましたら、常会長、組長・班長、民生児童委員、町社会福祉協議会（79-4180 担当:緑川）などにご相談ください。

また、今年3月からベルシャインニシザワで移動販売車「とくし丸」を運行しています。日常の買い物に利用してみてもはいかがでしょうか。



○問10 災害時の非常時持出品や備蓄品を準備していますか。

項目	回答数
1 持出品・備蓄品	45
2 持出品のみ	85
3 備蓄品のみ	57
4 準備していない	83

一般的に大災害発生時には、支援物資が届くまでの3日間の備蓄が必要とされています。備えをされている方がまだまだ少ない印象です。早めの備えを心がけましょう。今年度作成する地区防災マップでも必要な備蓄品などを掲載する予定です。

○問11 避難路や避難方法について、家族や親族、隣近所と話し合っていますか。

項目	回答数
1 決めている	94
2 決めていない	130
3 一部の家族のみ	46

災害によって、道路が寸断されたり、水路が溢れたり、想定外のことが起こります。今年度作成する地区防災マップを基に避難経路や避難場所について考えましょう。

○その他主な意見に対する対応状況

①要望事項について

カーブミラー、交通安全対策、防犯街灯の要望については、区会、常会にて現地を確認し、次年度の事業実施に向けて町へ要望をあげていきます。

②東西線入口交差点への横断歩道設置について

これまでも伊那警察署・長野県・町に対し要望し、現地確認も行っており、今年も再度要望書に関係機関に提出しています。

③朝の抜け道対策について（宮下・中村・漆戸）

これまでも啓発看板を設置したり、伊那警察署に取締りの依頼をするとともに、通行規制の検討も行いましたが、規制により区民の通行にも支障が出ることから、抜本的な解決には至っていません。県道を多くの社員が通行される㈱オリンプラス様でも時差出勤や東西線入口交差点での社員の交通安全活動の取組みをされており、関係機関と連携しながら取組みを進めていきます。